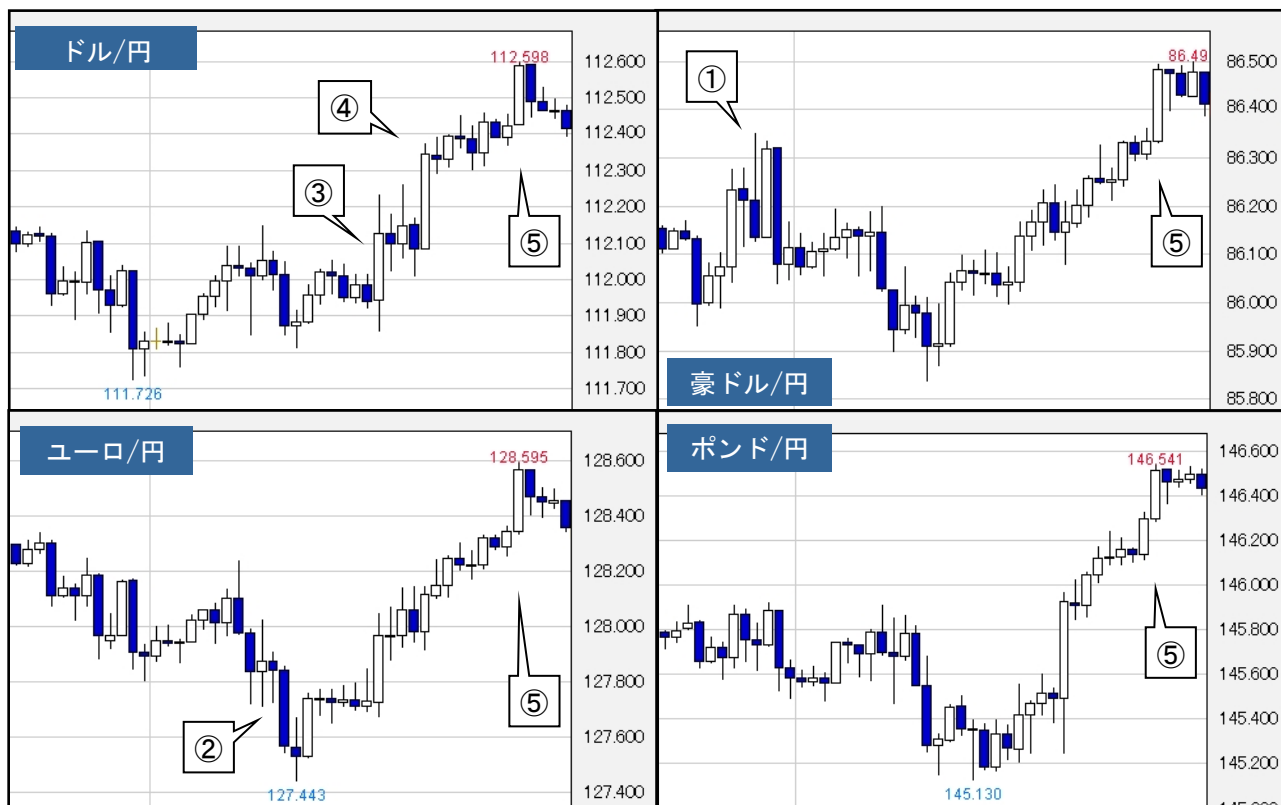


7月3日(月曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

都議選の影響は？

6月30日(金)の為替相場



期間：6月30日(金)午前6時10分～7月1日(土)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 前日の欧米株安の影響を受けて日経平均が一時2万円の大台を割り込む中、豪ドル/円は中国6月製造業PMIが51.7と予想(51.0)を上回った事を受けて86.30円台まで値を上げるも一時的であった。
- ② ユーロ圏6月消費者物価指数・速報値が前年比+1.3%と予想(+1.2%)を上回るも、前月(+1.4%)と比べ伸びが鈍化した。欧州勢がユーロ売りで参入していた事もあり、発表後ユーロ/円は127.40円台まで値を下げた。
- ③ 米5月コアPCEデフレーターは前月比+0.1%、前年比+1.4%と事前予想と一致した。これを受けて米長期金利が上昇すると、小幅にドルが買われた。
- ④ 米6月シカゴ購買部協会景気指数が65.7と予想(58.0)を上回ったほか、米6月ミシガン大消費者信頼感指数・確報値は95.1と速報値(94.5)から上方修正された。四半期末のロンドンフィキシング(日本時間24時)に向けてドルが買われた事もあり、ドル/円は値を上げた。
- ⑤ 米10年債利回りが一時2.3%台に上昇する中、ドル/円は112.60円付近まで一段高。クロス円はNYダウ平均が堅調に推移する中、ドル/円相場での円売りを受けて値を上げた。豪ドル/円はNY原油先物が46ドル台前半まで上昇した事も追い風となった。

6月30日(金)の株・債券・商品市場

外為注文情報(ドル/円)

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
20033.43 (▼186.87)	5721.494 (▼96.606)	3192.427 (△4.364)	7312.72 (▼37.60)	12325.12 (▼91.07)
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
21349.63 (▼62.60)	0.0860% (△0.0230)	2.598% (△0.094%)	1.257% (△0.007)	0.466% (△0.014)
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.3817% (△0.0125)	2.3037% (△0.0371)	46.04 (△1.11)	1242.30 (▼3.50)	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	111.600-112.900	127.100-128.800	85.600-86.700	145.200-146.800

【ドル/円】

本日のドル/円は、東京市場オープン前のオセアニアタイムに一時112円台を割り込むなど円買いが先行している。前日に行われた東京都議会選挙で安倍首相率いる自民党が歴史的な大敗を喫した影響と見られる。株安を見越した動きとはいえ政局不安で通貨高という反応は日本特有のものだろう。まずは、本日の日本株の動きが注目される。もっとも、都議選の結果が国政を揺るがすとの見方は少ない。市場がこの材料を消化するのに、それほど時間はかからないだろう。市場の関心は、次第にNYタイムに発表される米6月ISM製造業景況指数の結果や、米株・米国債の動向に移る公算が大きい。なお、本日のNY市場は明日の米独立記念日を前に株式・債券市場が短縮取引となる。

執筆者：神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
7/3(月)	08:50	○	(日) 日銀短観大企業製造業況判断DI	12	15
	08:50	○	(日) 日銀短観大企業設備投資(前年比)	+0.6%	+7.2%
	10:30	○	(豪) 5月住宅建設許可(前月比)	+4.4%	-1.3%
	10:45	◎	(中国) 6月財新/製造業PMI	49.6	49.8
	17:30	○	(英) 6月製造業PMI	56.7	56.3
	17:30		(米) ブラード・セントルイス連銀総裁、講演	—	—
	18:00		(ユーロ圏) 5月失業率	9.3%	9.3%
	23:00	◎	(米) 6月ISM製造業景況指数	54.9	55.2
	23:00		(米) 5月建設支出(前月比)	-1.4%	+0.3%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承いたします。